

お客様各位

ボディガラスコーティングの夏季における施工について

拝啓 盛夏の候、貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品の販売につきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

夏季は気温や車体の温度が高く、ボディガラスコーティングの施工の際に格別のご注意が必要になります。

下記の点にご注意の上での施工を行っていただくようお願いいたします。

また、代理店様におかれましては、注意点を御取引先の施工店様にお伝えいただけますようお願いいたします。

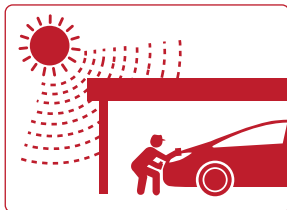
貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

夏季施工時における注意点

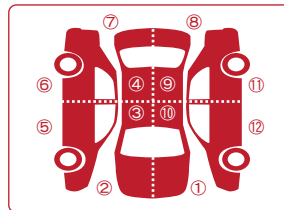
夏季は乾燥や硬化が早く、塗りムラや拭きムラが発生しやすくなります。また、日差しが1年の中でも最も強い為、ムラが目立ちやすくなります。お手数ではございますが、以下の点に十分ご注意ください。いただいた上で施工を行い、ムラを抑制していただくようお願いいたします。

①炎天下、直射日光の下での施工を避ける。



作業は必ず室内や日陰で行ってください。

④施工はパネル毎に仕上げる。



時計回りの作業イメージ

作業環境にもよりますが、1～3パネル毎に作業を進めてください。

塗布した面が乾燥し白くなったら、直ちに拭き取りを開始し、時間を空けずに仕上げ拭きまで完了させてください。

②十分な洗車を行い、汚れや油をしっかりと洗浄する。



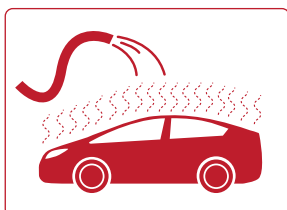
クロスやスポンジは新しいキレイなものをご使用ください。

⑤施工後の状態をしっかりと確認する。



車両を明るい屋外に出し、目視で施工状態をチェックしてください。

③車体の温度が高い時には施工を行わない。



水をかけて十分に車体を冷まし、かけた水をしっかりと拭き取ってから作業をはじめてください。

⑥ムラが発生してしまった場合は…?



作業直後ならば、再塗布し拭き取ることでムラを取ることができます。

ある程度放置してしまった場合は、既に被膜が形成されているので、ポリッシュマン03で研磨してから再度施工を行ってください。